

ビッチな同級生と可愛い後輩に短小包茎と童貞がバした恥ずかしい話



俺の名前は、アツシ。
高○3年の男子バレー部員である。
自分で言うのもアシだが、かなりモテ
る。部活でもエースアタッカーで選抜に
選ばれるほどの実力者だ。



今まで何人とも付き合ってきたし、
告白された人数は数えきれない。
噂ではファンクラブなんてものもある
そうだから、勘違いではないだろう。
そんな俺だが、彼女とはいってもキス止
まり……
それには誰にも言えない秘密がある
のだ……

それは、この情けないち○こである。
体は人並み以上に成長したのに、
ここだけは小○生以来全く成長して
いない……
ドリルのように先が尖っており、
全く亀頭が見えない。



勃起しても十センチにも満たない
短小真性包茎ち○こ……

これを彼女に見せられるわけがない。
何度も脱童貞のチャンスはあったの
に、その度にこのち○こを見られる恥ず
かしさに負けて、断ってきた。
そんな訳で、モテるにも関わらず、
俺はいまだに童貞だった……

今日も練習が終わった。
俺の高○には、運動部共同のシャワー
室がある。
快適な空間なのに、俺にとっては裸に
なる厄介な場所だ。
そのため、今までほとんど利用して
こなかった。



しかし、今日は遅刻した罰として居残り
練習兼掃除をさせられた。
誰のおかげでバレー部が強くなったと
思っているんだ？
イライラしながら、普段は使わない
シャワー室へやってきた。
汗でベタベタになった練習着を乱暴に
脱ぎ捨てる。

普段は利用するとしても、かなり警戒
するのだが、今日は違った。

誰もいないのだ！

俺はタオルも持たないで、シャワーを
浴びる。ああ、これだよこれ！
運動の後のシャワーは最高だ！



他の連中が気持ちよさそうに浴びて
いる姿を見るたびに羨ましかった。

その度に他の奴らと自分の股間の大き
さを比べてしまう。

みんなかなりデカイ……

と、言っか俺が小さいだけなのだろう。

今まで俺よりも小さい奴を見たことが
ない……

ガチャッ……
誰もいないはずなのに、鍵が開いた！

はあ、疲れた
マジ最悪……遅刻くらいでいちいち
騒ぐんじゃない、アツジ？
そう思わない、アツジ？



そこにはヤ○マンビッチで知られてい
るアスカが立っていた。
こいつも遅刻の常習犯で、今回は俺と
一緒に残されたのだ。
しかし、今はそんなこと関係ない。
なぜ、こいつが男子更衣室にやって
きているのだろうか？

ここ男子更衣室だから！
俺は大声をあげながら、慌ててカーテンを閉めようとした。
ところが、金具がひっかかって、うまく閉まらない。しかたがなく、背を向ける。しかし、アスカは全く気にしていない様子だ。



なんかさ、
女子更衣室のシャワールの調子が悪いんだよね。
だから、こっちで浴びさせてよ。
こう見えても、私かなりスタイルいいからね(笑)
アツシにだったら、別に見られても構わないし……それに、なんだったら、溜まってるもん、吐き出す(笑)

俺だって健全な男子高○生だ。
いや、それどころか、性欲の方は
かなり強い。
彼女ができて、いい雰囲気になっ
ても、毎回我慢しなくてはならない。



そのため、どんなに疲れていても
一日に三回はオナニーをする。
そして、そのオナペットの筆頭が
このアスカだ。

かなりのヤ○マンなビッチ。
男をとっかえひっかえして、彼氏
の噂が絶えない女だ。

見ての通り、顔もスタイルもいい。
おまけに下ネタもOKときた。
そりゃ、男なら、こんな女を抱いて
みたいに決まってる。
体だけの関係……セフしもかなり
いると聞いたことがある……



実を言っと、今日はシャワーを
浴びながら、アスカで一発抜いて
帰ろうと思っていた。
そんな中、本人の襲来！
これで慌てないはずがない！
俺は冷静な判断ができなくなって
いた……

俺を無視するように、アスカが服を脱いでいく。
思わず、凝視してしまう。
な、何やってるんだよ！
慌てて顔を背けて、大声を出す。



汗かいたから、シャワー浴びるに決ま
って汗かいたから、シャワー浴びるに決ま
る。恥ずかしいのかって？
別にアツシになら見られてもいいし、
何だってたら、一緒に入る？
ってか、見過ぎだから(笑)
別に女の下着姿なんて、珍しくないっ
しょ(笑)

知ってると思うけど、私、結構テクニシ
ヤンだよ
どんな男だって、すぐに骨抜きにでき
るからね！

シロツノミ

かなり自信
あるから(笑)



前から、アツシのことは気になってた
んだよね
付き合う付き合い合わない別で、一回ヤッ
てみたかったんだよね
結構な人数経験あるっしょ？
相性良ければ、セ○しとかでもいいか
ら、一回私のテク体験しない？

強引にアスカが個室に入ってきて来た。
お、おい！ マジで止めろよ！

別に恥ずかしがらなくたっていいじゃん？
女の私に恥かかす気？
それに、アツシ、今彼女いないっしょ？
いつも私のこと見てんの知ってんだから（笑）
正直にないなさいよ

焦る俺とは対照的に、アスカは全く恥じらいがない。これが童貞とビッチの違いだろうか？
俺だって、できることなら、アスカとSEX
したいに決まってる。
しかし、そうはいかない……

なにになに？
アツシってそんなに純情野郎だったの？
そこまで拒否られると、ショックなんだけど

ようやく、アスカの動きが止まった。
うう……非常に残念だが、今日は彼女の
下着姿をオカスにオナニーしよう！

隙アリーッ！

一瞬の油断……
アスカはカーテンを開けて、俺の入っている
個室へと入ってきて来た。

へへへッ、ようやく入れた
な〜に純情ぶってんだか知らないけど、
我慢は体に毒だよ〜(笑)

アスカが笑いながら、俺を見る。

手で隠す暇なんてなかった……

俺はマヌケな全裸の姿で、アスカの目の前に
立っていた。

艶めかしい表情は、まさに餌えたメス。

その視線が徐々にな下へ向かう。

体が全く動かない。まるで、蛇に睨まれた蛙の
気分だ。わずかに数秒が長く感じる。

暑さとは違っ汗が体中から溢れる。

えっ？

ああ、ついに見られてしまった。

今まで男友達にも隠していた俺のち○こ。

それをヤリ○ンビッチであるアスカに見ら
てしまった……

へ〜、これがアツシの……

想像していた反応と違う。

アレッ？ もしかして、これってイける？

意外と自分が思っていたほど、小さくないの
かもしれない。

しかし、すぐに俺は奈落の底へ落とされる。

ヤバすぎなんだけど



えっ、えっ？

なにそのち○こ(笑)

やバすぎじゃない？

先尖ってんじやない？

ドリ千○こ見ただこ

とないんだけど

この歳でその小ささ

ってやバくない？

なに、包茎って

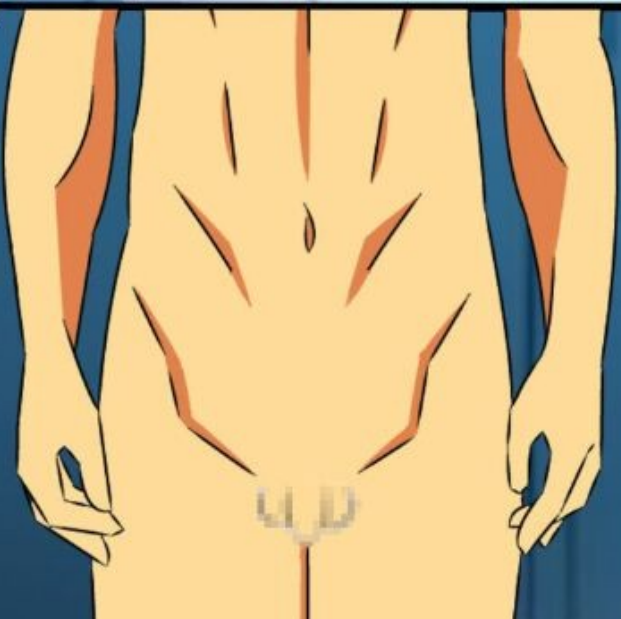
奴？剥けない系？

真性？仮性？

やバすぎ、超ウケる(笑)

うう……なんたる屈辱
……しかし、恥ずかし
さよりも少しづつ怒り
が出てきた。
そもそも、何でこいつ
が男子更衣室にいるの
だ？

こんな奴に恥ずかしが
る必要はない。
ガツンッと言ってやれ
ばいいのだ！



に、日本人の七割は
包茎なんだよ！
だから、別に包茎で
も恥ずかしくない！
俺以外の部員だって、
ほとんどの奴が包茎
だぞ！

そ、それにこれから成長
する可能性だってある
んだから、そんなに笑っ
んじゃねーよ！



ぷぷぷっ

どこ情報よ、それ？
七割も包茎なわけ
ないじゃん(笑)
確かに包茎は多い
かもしれないけど、
これだけ立派な
包茎君は見たこと
ないや(笑)

それに何か、臭いん
だけ？
ちゃんと皮剥いて、
ち○こ洗ってんの？
包茎でもいいけど、
清潔にしないけど
ダメでしょ(笑)

顔が真っ赤になった。
何も言い返せない俺に、アスカはさらなる攻撃を仕掛けてくる。

ってかさ、それって皮剥けるの？

真性包茎なので、皮を剥くことができない……

うげ……マジで剥けない系？

ヤバいっしょ？ 即手術レベル(笑)

アハハッ、まさか、アツシがこんな

お子ちゃま○こ、ぶら下げたなんて信じられないんだけど(笑)

男子更衣室中に響き渡るほど、大きな声で笑う。

今時、小○生だって、もっと大きいからね！

い、いくら何でも、それはないだろう？

いやいや、アツシの方が小さいからそんなち○つでちゃんとS○Xできるの？

すぐに何か言えばよかったのかもしれない。しかし、この時の俺は何も言い返せなかった。それが、アスカに確信を与えてしまったのだ……



えっ？　もしかして……アツシって童貞？　アハハッ、マジでチエリーボーイ？　こんな童貞臭いち○こじゃ、S○Xできかないよね〜
きないに、じゃあ、今まで彼女いたのにS○Xしたことはないんだ(笑)
このままだと、アツシ……一生童貞のままなんじゃないの？

童貞をバカにされた。

恥ずかしさで、体中が熱くなる。

が、しかし、激しい羞恥心と共に、俺は自分のバカにされることに興奮してしまっただの。

気が付けば、小さなち○こは痛いくらいに勃起していた。

はぁ？

なんで勃起してるわけ？

もしかしてバカにされて興奮しちゃったの？

ち、違う……

違うじゃないよね？

それ小さいけど、勃起してるよね？

勃起しても皮が剥けない真性包茎だよね？

う、うん……

あゝあ、アツシがこんな粗チンだなんて、ショックだわゝ

今までアツシのこと、カッコイイって
思ってたのに、マジ最悪
責任取ってよね、このクソドーテイ！

う、うるせえ！ このビッチが！
高○生で童貞なのは普通だからな！

アハハッ、ち○こ勃起させて言うセリ
フじゃないから(笑)
それに童貞君にビッチとか言われたく
ないな

S○Xも知らない童貞ボウヤ(笑)
悔しかったら、さっさと卒業してみな
さいよ。どうせ無理だろうけどね(笑)

こんな状況にも
関わらず俺の
ち○こは痛い
く○こには勃起
していいんだ……



ねえねえ、私とS○Xしたい？
予想しなかった言葉だった。
しかし、今の俺に我慢できる訳がない。
激しく頭を上下させていた。
それを見て、笑うアスカ。



じゃあさ……「僕の情けないお○ん
んを大人のペ○スにしてください」って
お願いして(笑)

バ、バカッ！ そんなこと言えるわけ
ないだろ！

別に私はどっちでもいいよ？
でもその調子だと、一生童貞かもね

しかし、このチャンス逃すと、アスカの言う通り、いつ卒業できるかわからない。次々と童貞を卒業していく同級生たち……俺を当たり前のように、ヤリ○ンだと思ってる男友達。そして、そのキャラを演じる俺。

ほらほらどうすんの？
お金払ってまで、私とヤリたがるオヤジもいるんだよ？
それがタダなんて夢のようじゃん？

お、俺の……

全然聞こえないよ？

お、俺のお子様おち○ちんを、大人のペ○スにしてください！

アハハッ、マジで言ったよ！
あのフライドの高いアツシがね、(笑)

い、言ったんだから、や……やラせつよな

確かに言っただけど、その真性包茎見てたら嫌になっちゃった(笑)
病気になるいそうじゃん？
どうせ、生まれてから一度も剥いたことのないチンカスピツシリの汚いち○こなんですよ？

だから……こうしてあげる！

アスカが俺の体にお尻を押し付けてきた。
あぁっ！

下着越しにアスカの体温を感じる。
それにこの柔らかな感触はたまらない。

アハハッ、すっごく気持ちよさそうな
顔してるけど大丈夫？

大丈夫じゃないです……
そんな俺をよそに、アスカは
お尻をさらに押し付けてくる。



どう？

少しは気持ちいい？

S○Xには劣るけど、尻コキもいいでしょ？

まあ、童貞君にオ○ンコは早すぎだもんね

せいぜい、私のお尻に汚らしい精液ぶちまけ

なさいよ(笑)

や、やばい……

もうイキそうである……

あ……ああ……

情けない声が出る。

へ、アツシってそんな声で喘ぐんだ。

かわい〜(笑)

女の子のお尻で感じちゃうなんて、恥ずかしい男だよ〜

このままじゃ、マズイ!

いったん距離を置くため、離れようとするが、アスカがそれを許さない。

アハハッ、気持ち悪い顔(笑)

もう我慢できないんでちゃうか?

アツシ君は童貞で包茎でおまけに早漏君なんでちゃうか?

うう……なんたる屈辱……

しかし、俺はその赤ちゃん言葉に興奮してしまった。

ううっ! ぐっ! んんっ!

お尻に力を入れ、迫りくる射精を止めようとする。

ところが、何を思ったのか、アスカはさらにお尻を押し付け、刺激を与えてくる。

まさか、本当に俺がイキかけているなんて夢にも思っていない様子だ。

ドピュッ！
ドクドクドク……
激しい射精とは違い、
先っぽの皮が膨らんだ
後に、ダラダラと精液が
垂れ流れる……

あ……じじ……

ゴロゴロ～

ちょっとさ、さっきから変な声出し過ぎ(笑)
気持ちいのはわかるけど、もう少し声出すの
我慢しなさ……あれ？ 何か湿ってる？

……………

えっ？ ちょっ！ ウソッ？

もしかして、もうイッちゃったの？
えっ？ ウソでしょ？ もう？



アハハッ！ なになに？ アツシは童貞で包茎、短小だけじゃなくて、早漏だったの？

早すぎだったの〜(笑)

こんななに早い人見たことないんだけど！

童貞君だって、もう少しは我慢できるのに、

アツシは全然我慢できないんだね(笑)

早打ちのアツシ(笑)

我慢できないとかお漏らしじゃん(笑)

しかも、精液が皮の間から垂れ流れるとか

……マジウケんだけど(笑)

普通、ドピュドピュ勢いよく出るよね？

それでこそ射精って感じじゃん？

こんな精子じゃ、妊娠させられないよ(笑)

いつの間にか、俺は正座をさせられていた。

その後もアスカは俺を見下ろしながら、罵倒

し続ける。そして、その言葉に興奮してしまっ

俺……

どうやら、俺は自分でも知らないくらいドMのようだった。

本当に拍子抜け……

面白かったからいいけど、体は全然不満足！

しゃくない。セフしからいい感じのデカち○

相手にS○X三昧といきますか(笑)

そっ言い残し、アスカは帰っていく……



次の日、登校したが特に変わった様子はない。

俺が一番恐れていたのは、アスカが昨日のことをみんなにバラすことだった。

あんなことがバレたら、俺が今まで築きあげたイメージが台無しになる！

しかし、同時にあのことがみんなにバレたらどうなるのか？

危険なことは承知だが、体は正直だ。昨日のことを思いだすと、股間が熱くなる。事実、あの後、残された更衣室で3回もオナニーをしてしまった。

屈辱的な羞恥体験……

それなのに、俺は今まで感じたことのない異常な興奮を覚えていた……

い

しかし、そう簡単に終わる訳がない……
昼休みになると、学校でも人気のない
場所へ連れて行かれた。

へー、ちゃんと学校来たんだ？
あんなことがあったから、学校休むかど
思っただけど、意外と根性あるんだね。
やり過ぎたか心配だったんだ



アスカは俺のことを心配してくれていた。
それなのに、俺は……俺は勃起していた。
なんとかバシないように、誤魔化してい
たが、逆にその行動が不信感を抱かせてし
まった。

ねえ、もしかして、あんだ……勃起してる？

人が心配してあげてるのに、君は何を
考えているのかな？

その他人行儀な話し方が、さらに興奮
させる……

アハハッ、アツシって本当はド変態さん
だったんだね。
いいよ、いいよ。今までのアツシって真
面目過ぎて、私的には少し刺激が足りなか
ったんだよね、

そ、そんなことは……

何勝手に口答えしてんの？
その貧相に勃起したち○こが証拠！
あゝあ、みんなにアツシがこんなに変態
だってこと話したら、どうなるんだろう？

ああ、止めてくれ……

全然、説得力ないよ。
まるでバラして欲しいみたい。
ねえ、ここでオナニーしてみてよ(笑)

あらら、本当に脱いじゃった(笑)

お、お前が脱げって……

だからって普通は脱がないでしょ？

うう……

そう言いながら、アスカが近づいてきた。

フスフスッ
恥ずかしい

うわ、もうビンビンじゃん！
サルと変わらないね……ああ、お猿さん
でも、もう少し大きいよね。

昨日も見ただけど、相変わらず貧相だね。
こんなち○こ、よく見せられるよね？
クサッ！ 臭いんだと(笑)

アハハッ、オナニーしてる(笑)
へへ、男の人ってこんな風にオナニーする
んだろ。いつもS○Xだけだから、初めて見る
なんか、情けないね(笑)

最初はキモかった
小さい子が一生懸命に
みだいで可愛いよ、頑張ってる

シコシコシコッ！



小さいからシゴきにくそうだね
やっぱい皮剥けないんだね
おしっこの時もシャワーの時も剥かないん
でしょ？
アハッ！剥けないの間違いだったね。
アツシは真性包茎君だもんね(笑)

ああっ！
昨日以上の快感が俺の脳を襲う！

うわっ！もうイッた！
相変わらず早いね！

あーっ
あーっ
あーっ

シロシロシロ...

こいちゃ、救いようがないね
一生オナニーしてなよ

ふーん……飛ばないのは、掃除が楽でオナニ
ーに関しては便利かもね(笑)
どうせ、その精子はゴミ箱行きだもんね。
あーあ、可愛そう。本当はペ○スって、生殖器
なのに、アツシの場合、排泄とオナニー用だも
んね(笑)



救いようのないアツシ君にフしセントがあります。変態のアツシ君には嬉しいすぎるフしセントでしょうね(笑)

そう言って渡されたのは、女性モノの下着だった。しかも縞パンツ……

こ、これって？

明らかに使用済みのパンツである。

変態のアツシに拒否権なんてないんだから早く履きなよ！

アハハッ、本当に履いちゃった(笑)

いや、女性用の下着でも、小さいお○んちんは隠れちゃうんだね

全然モッコリしてないじゃん(笑)
それなら、女の子でもいけるよ！

アスカの言う通り、全体にキツイものの、股間部分は余裕さえ感じる。

屈辱なのに、さっき射精したばかりなのに俺の股間は大きくなっていた。

アハハッ、さすがに勃起したら、少しは変化するね。今日は一日そのパンツ履いてね！

何とか縞パンツを履いたまま、一日
過ごすことができた。
部活も終わり、後は帰るだけ。
他の部員たちが帰るのを待ちながら、
俺は残って練習をしていた。



うう……股間が我慢汁でビチョビチョ
だ……こりゃ、家に帰ったら、すぐに
オナニー開始！
早くみんな帰りやがれ！
イライラするような、ワクワクするよ
うな不思議な気分でする。
ああ、今日のオナニーが楽しみだ！

残ってまで練習だなんて、アツシは
本当に真面目だねえ

まあな……

俺だって馬鹿じゃない。
あのアスカが何の考えもなしに俺に
こんな恥ずかしい恰好をさせる訳ない
のだ。
俺からすれば、ようやく来たかといっ
た感じだ。

フフフ、そんな顔しないでよ。
用があるのは、私じゃなくて、この子
なんだからさ



アスカの後ろに隠れるように立っていたのは、後輩のミキだった。部員の中でも人見知りで恥ずかしがり屋のミキ。それがヤリ○ンのアスカと一緒になのは意外だ。

ううゝ



あのさゝ、ミキって処女なんだって

せ、先輩？！

ミキが顔を真っ赤にさせる。

この子、彼氏がいるのに、まだ処女なんだよ？
だから、私がいろいろレクチャーしてあげてるわけ！

じゃあ、アツシ服脱いで！

は、はぁ？ ざ、ざつしてさっとなるんだよ？
ミキは俺のことを慕ってくれる可愛い後輩
である。そんなミキの前で服を脱ぐことなんて
できるわけがない！

いきなり私のセフシでレクチャーしてもい
いんだけど、ち○こもろくに知らない処女の
ミキには荷が重いっしょ！
だから、最初はあんたを練習相手にすんの！

ミ、ミキも嫌がってんだろ！

え、えっと……私は先輩のなら……

アハハッ、心配ご無用！

この子、結構そっちの話題好きなのよ
純情派のや○マンの素質アリね(笑)

ショックだった……

ミキは可愛い後輩。人見知りが激しく、大人
しく、下ネタに免疫がない子だと思っていた。
それが実は……

なにショック受けてんの？
女なんて、みんなこんなもんよ！

童貞だから、女に幻想抱き過ぎなのよ(笑)

ええっ!先輩って童貞なんですか?

ア、アスカッ!

別に今更隠すことないでしょ? そうなの、アツシって童貞なんだよ意外だよね

せ、先輩って彼女さんいましたよね?

その……S○Xとかしなかったんですか?

そ、それは……

まあまあ、その辺のことともこれからいろいろ教えてあげる!

そんな訳で、可愛い後輩のために一肌脱ぎなさいよ!

ねえ、ミキもアツシの裸見たいでしょ?

は、はい……先輩の裸……見てみたいです……



何たることだ……

本当に二人の前で服を脱ぐ展開になってしまった。

断れば断れたはずだ。

しかし、俺はアスカに弱みを握られている。そうだ、俺は逃げる事ができない。

ここで裸になるのは仕方がないのだ！

まるで自分に言い聞かせるように、上着を脱いだ。

すごい……

先輩の体……オスの体って感じです……

ミキはトロンツと艶めかしい目をしながらこちらを見ている。

ああ、なんてエッチな表情なんだろう……

俺の股間は既に大きくなっていた。

このまま行けば、確実に破滅が待っている。

それなのに、俺の手は止まらない。

そして、ついにハーフパンツも脱いだ。

えっ？ ヤダー！ なんで先輩が？

しまった！

俺は今、女モノの縞パンツを履いていた。

変態扱いされてしまう……

しかし、それ以上の反応が俺を待っていた。

その下着……私が盗まれた奴です……
な、なんだって！
訳が分からないまま、アスカを見る。
アスカはニヤニヤと笑っていた。
ああ、何たることだ……
これがミキの下着だなんて……



あらら、アツシって下着泥棒だった
んだ(笑)
犯罪者じゃん！ 幻滅しちゃう！

ち、違う！ 違うんだ！

何が違うの？
そんなにち○こビンビンに勃起させて
言われても説得力ないよ(笑)

ミキは今まで見たことのないような
軽蔑しきった目で俺を見てきた。

俺がいくら弁解しようど、この誤解が
解けることはないだろう……

まあ、童貞君なんだから、女の子の下
着に興味があるのはしょうがないよね。
誠意を見せてくれるなら、許してあげ
てもいいんじゃない？

いくらアスカを睨んでも意味がない。
もう、俺はアスカの言われるがまま行
動するしかない。

それじゃあ、早速アツシのおち○ぽ見
るとしますか！

これだけ立派な体なんだから、さぞか
しご立派なモノをお持ちなんでしょうね

わざと煽るように言ってくる。

俺は言われるがまま、パンツに手をか
けた。

ああ、今まで秘密にしてきたことがこ
んなにも簡単にバレてしまつとは……

うっっ……



あれ？
ええっ？



やダッ！
何コレ！



あらう、体に似合わ
ずにいふんと可愛い
お○んちんだこと



体は立派に成長したの
に、そこだけは成長し
なかったのかな？

ビ
ン
ン
ド
ロ
ド
ロ
モ
フ
ア
ン



え、えっとアスカ先輩……ネットで見えた画像とずいぶん違っんですけど……

何がどう違うの？

ネットで見えた画像はもっとグロテスクで、
だけどオスを感じさせるものでした。
だけどアツシ先輩のは、子供と変わらない。
それになんだかすごく……臭いです……

フフフ、これが包茎って言うの

ほ、ほうけいって子供だけなんじゃ？

そうなの。普通は大人に成長すると共に
皮が剥けて、立派なペ○スになるんだけど、
たま〜にアツシのようにお子ちゃまのまま
の男がいるのよ(笑)

へ〜、先輩ってお子ちゃまだったんですね。
最初は気持ち悪いと思ったけど、そう考える
と可愛いですね(笑)

確かに包茎は可愛いかもしれないけど、アツ
シは真性包茎で全く皮が剥けない不潔な包茎。
こんなのとヤッたら、こっちが病気になるっ
ちゃうから気を付けなさいよ(笑)
は〜い！

すっごい幻滅ですよ、先輩！
先輩のこと尊敬していたのに、本当は
下着泥棒の童貞野郎だったん
ですね(笑)

サービスで下着
見せてあげたら？



ほれほれ！

こんなスポーツブラで
興奮しちゃうんですか？
あゝあゝこんな変態さんが彼氏じゃなくて
本当に良かった(笑)

そうそう、うまいじゃん

小さくてシゴきにくい
ですね(笑)

大丈夫、大丈夫！
普通はもっと大きいから

そうですね……ってキャッ！
ええっ！これって射精ですか？
ウソ！先輩早すぎですよ！
これって早漏って奴ですか？
本当に救いようのない先輩ですね

やだゝ



最初こそ赤面していたミキだが、すぐに慣れて俺を弄ってくる。

さらにアスカのレクチャーを受けて、どんどんシベルアツプじているのもわかる。

処女と童貞……同じようだが、既にミキは俺とは違うのだろう……

先輩、ありがとございませう。

これで今度のデートで彼氏といい感じにできそうですよ(笑)

勘違いしちゃダメ!

アツシは童貞、包茎、短小、早漏、変態だからね! 普通はもっとイカせるのだって、難しいんだから

はいはい!

二人は楽しそうに笑いながら、俺がいることなど忘れたかのように話している。

皮の間からダラダラと精液を垂れ流している俺

アツシはちゃんとその汚い排泄物掃除しなさいよ

アハハッ、先輩、排泄物ってウケる(笑)

何度射精させられたらろうか?

俺は何も考えられない頭のまま、一人残され、床を掃除する。

ああ、これから俺はどうなってしまうのだろうか
今度のことを考えると、股間が熱くなる……

その後、すぐにミキが処女を捨てたことを聞いた。

先輩も早く童貞卒業した方がいいですよ。

アハッ、先輩の場合、卒業したくても、できないんですよね、ごめんなさい(笑)

S○Xって、とっても気持ちいいんですよ。

オナニーって二人じゃないですか。

でも、S○Xは相手がいる。

温もりが違いますよ、温もりが!

先輩は今日も一人でシコシコオナニーですよね!

私はこれからデートで彼氏とS○X三昧です(笑)

あ、楽しみです(笑)

しばらくすると、二人とも俺に飽きたようで、何も起こらなかった。

しかし、新たな性癖に目覚めてしまった俺は今日も一人で二人のことを考えながら、オナニーをするのであった……

や○マシの女に包茎、早漏をバカにされ……

後輩に童貞をバカにされ……

ああ、なんて最高なんだ!

あの蔑むような目で、見られた日には、即射精してしまうではないか……

それから俺は大○に進学し、バレーを続けている。もう二人とは連絡すら取っていない。

所詮、彼女たちにとって、俺なんてその程度の存在だったのだろう……

ねえ……早くきてよ……
私だけ裸だなんて、恥ずかしいよ……

大○のバレエ部でも活躍することができ、
すぐに彼女ができた。
バレエ部のマネージャーで、順調に交際を
かさね、彼女の家に招かれた。
初めての宿泊。
彼女は何を言うのでもなく、シャワーを
浴びて、ベッドに座る……

童貞の俺とは違い、彼女の中では
宿泊＝S○Xなのだ……
いや、彼女だけではない。
大○生になれば、S○Xなんて普通なのだ。
お子様の俺とは違い、彼女は慣れている様子
だった。

アツシって焦らしが好きなの？
結構Sっぽいもんね(笑)
私、責められるの弱いんだ……
早くアツシも裸になってよ……



今まで築き上げてきた信頼やフライドが崩れようとしている。
今ならまだ間に合う。
しかし、俺は服を脱ぎ始める。
最初は恥ずかしそうに俺の体を見ていた彼女。ところが、下着を脱いだ瞬間、表情が一変する……



大きく目を見開き、俺の股間に視線を注ぐ。
ああ、この感じ……懐かしい……

うそ……何コレ?

そう、それだよ!
体中が歓喜しているのがわかる。

何コレ?

うそでしょ……

彼女は信じられない様子で何度も同じことを呟く

こんなの初めて見たんだけど

アツシヤバくない？

こんなのでS○Xしたことあるの？

えっ？　もしかして、童貞？

うそ、童貞なの？

その歳で童貞とか恥ずかし（笑）

カッコイイのにもったいないね！

ヤ
ッ
ハ
ッ



それで勃起してるんだ

勃起しても皮剥けないんだね。

えっ？ 真性包茎だから剥けない？

うわ、マジキモいんだけど(笑)

よくそんなち○こ、私に見せられたね

我慢汁だらだらだけど、もしかしてもう

イキそうとか？

マジで？

やばすぎ！
ド早漏じゃん（笑）

ちよっ！なにシゴいてんの？
彼女が目の前で裸なのに、それ見てオナニーとか
頭おかしいんじゃないの？
わかった！アツシって変態なんですよ！
なるほどね、納得納得！
手術すれば、少しはマシになるかと思ったけど、
性癖までは治せないよね

一っ上の男でござい
治らないね(笑)じゃ



アハッ！もうイッチャったね(笑)
へい、皮からダラダラ垂れて恥ずかしい
その粗ち○も、アツシの性癖からすれば
最高の相棒じゃね！
私はマジ勘弁だけとね！
ってか、その性癖に付き合える人なんて、
いないんじゃないかな？
自分だけ勝手に気持ちよくなって、くっさい
精液垂れ流す彼氏とか、マジ勘弁！

あらう、また勃起しちゃったね。
それでまたシコシコオナニーしちゃうんだ。
本当にド変態だね。
そのきったない精子で汚した床、掃除したら
帰ってくんない？
もう私に話しかけないでね。
他の部員やマネージャーにも君の性癖
教えておくから……
って、何さらに興奮してんの？



周りにバせるのが、そんなに嬉しいの？
うわ、本当に真性の変態だね。
ああ、またイッた……
カッコいいから付き合ったけど、マジ
最悪……
ほらほら、あんたの服で床の精液掃除して
やるよ！
はいはい！ さっさと出て行け！
裸のまま出て行きなさいよ、変態！
その方があんたは嬉しいでしょ？

彼女の……元彼女のアパートを裸のまま追い出され、俺は精液で汚れた服を抱えて、近くの公園の公衆トイレに駆け込んだ。

ハァハァハァ……

何とか誰にも見られることなく、逃げる事ができた……

しかし、今頃……遅くとも明日には、みんなに俺の性癖がバレてしまうだろう……
せっかくセロから築き上げてきたのに……

しかし、バシる恐怖よりも、それ以上に俺は興奮していた。

ああ、やっぱり俺にはこれしかないのだ……
硬くなったち○こに手を伸ばす……

ああ、これ！これだよ！

先ほどの元彼女の言葉を思い出しながら、公衆トイレの中でオナニ―をする。

アスカやミキが俺の性癖を目覚めさせたのだろうか？

それとも最初から俺はこんな変態だったのだろうか？

それはわからない。

ただ、今はこの快感に身を委ねたい……

俺は大きな喘ぎ声をあげながら、誰もいないトイレの中で大量の精液を吐き出した……

END